

## 研修履歴

- 幸生さん  
2009.09. 北海道農業公社の「道内農業視察会」に参加  
2010.04. 恵庭市等で農業体験(6ヶ月)  
2011.01. 長期農業体験(3ヶ月)  
04. 鶴川研修農場で実践研修  
2012.11. 独立就農(1年6ヶ月)  
(就農時47歳)
- 博美さん  
2011.04. 鶴川研修農場で実践研修  
2012.11. 独立就農(就農時49歳)



「定年後、自分で農業やってみたいなあど、漠然と。」

## 経営規模

農地 1.25ha  
施設 ビニールハウス 100坪×10棟  
作物 トマト・春レタス  
農業従事者 本人、妻(博美さん)、長女(彩乃さん)

## 住宅

市街地の賃貸住宅(一軒家)  
圃場から約2km



医薬品の営業職を18年間務めていた幸生さん。

転勤が多く、道内を転々とした後に関東への転勤の話が出たことをきっかけに、漠然と考えていた農業への思いが鮮明になりはじめてきた。

■もともと土いじりが好きで、家庭菜園をされていたのでしようか？

幸生さん「いや、全然。」

40歳を過ぎた頃から、定年後、自分で農業やってみたいなあど漠然と考えていただけで。」

生まれ育った北海道で農業をする決意を固め、会社を退職。

すぐに札幌農学校へ入学し、1年間農業について学びながら、北海道農業公社の「道内農業視察会」に参加したりと、農業についての情報収集や知識を修得してきた。

札幌農業学校卒業後、むかわ町外の2カ所所で農業体験を6ヶ月間行った。

その頃、

妻の博美さんは農業で生計を立てていこうと突き進む幸生さんの気持ちとは裏腹に、不安な気持ちで乗り気ではなかったとのこと。



■幸生さんのサポートをしようかと覚悟した決め手は何だったのでしょうか？

博美さん「実際にむかわへ行って、就農までの詳細を聞いたことと、主人の熱意に負けました(笑)」

※平成22年10月、幸生さん・博美さんはむかわ町鶴川農業センターに来て、むかわ町での就農説明・研修農場見学しています。

■むかわ町での独立就農に向けて、長期農業体験、実践研修へと入るわけですが、たくさんある道内市町村の中から、むかわ町に決めた理由は何だったのでしょうか？

幸生さん「以前苫小牧に住んでいたこともあって、親類も穂別にいたり、むかわ周辺の土地勘はもともとあってね。交通の便がいいところかな。」

本州への発送を考えて、空輸便でも船便にしてもどちらも近いしね。

医療の面でも、家族が急な病気になった場合に救急センターのある苫小牧が近いのも理由のひとつかな。」

※苫小牧ーむかわ町市街地から無料高速道路を使い車で40分ほど

※穂別ーむかわ町の内陸部にある地区

※空輸便ー新千歳空港、船便ー苫小牧港

(どちらもむかわ町市街地から無料高速道路を使い

車で40分ほど)

平成23年1月、幸生さん単身でむかわ町にて長期農業体験へ。

長女の彩乃さん(当時中学2年生)の進級時に合わせ、翌年3月に博美さんと2人のお子さんがむかわ町へ引越し、4月からは幸生さんと博美さん2人で実践型研修農場に1年6か月間入った。

翌年11月に独立就農し、当初8棟(1棟あたり100坪)あったビニールハウスは、平成22年現在は10棟までに増棟。

今年の春からは、彩乃さんがお手伝いに入り、3人で管理している。

■当初、農業をすることに前向きではなかった博美さんですが、独立就農されて3年目になる現在の心境はどうでしょうか？

博美さん「1日の仕事量を決めることができるので、メリハリつけて仕事することができます。

毎日大変だけど、収穫が終わると、大変さも忘れます(笑)」

■最後に、吉田さんの思う農業のやりがいや面白みは何でしょうか？

幸生さん「自分がやったことに対して反応があるし、結果もでるところかな。」

